

## 御意見への対応

	骨子(案)(下線部は前回からの変更箇所)	御意見 (○:委員 ◇:林業・木材関係者等)	計画(案)への反映
	計画全般	<p>○プロジェクトの中でも様々な施策があるので、総括するポンチ絵があると分かりやすいのではないかと。</p> <p>○可能な限り目標数値を設定し、5年後にしっかり検証できるようにすべき。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画の全体像を提示 (P15)</li> <li>各項目について可能な限り目標数値を設定 (P14)</li> </ul>
森を活かすプロジェクト	①間伐の加速化と主伐の促進による循環型林業経営を推進	<p>①◇苗木生産者の育成が大事であり、花粉の出ないスギを増やしてほしい。</p> <p>①○再造林する際は、福井県として特徴のある森を作ってほしい。</p> <p>④◇需要側と供給側が情報を共有できる場が必要。 ○林業事業者が情報共有できる連絡協議会の設立を検討してほしい。</p> <p>⑤◇林業事業者の育成だけでなく自伐林家の育成も進めるべき。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県産苗木の供給体制を整備 (P18)</li> <li>本県の気候風土に適応した有用樹(広葉樹等)の選定と種苗生産技術の開発 (P18)</li> <li>多様な需要に対応した原木の安定供給システムの構築 (P22)</li> <li>地域に根差した経営意欲の高い自伐林家を育成 (P23)</li> </ul>
	②集落単位での取組みや新たな手法の導入による施業集約化の促進		
	③林業経営の効率化に向けた生産基盤の整備		
	④原木の安定供給システムの構築		
	⑤森林経営・管理を担う人材を育成		
木を活かすプロジェクト	①木材加工流通体制の強化による県産材の利用拡大	<p>①◇木材の出口対策が重要で企業誘致は大事である。</p> <p>③○行政が県産材をもっと積極的に使う姿勢を見せるべき。</p> <p>⑦○県産材を使用した施設や玩具などの事例集を作成して情報発信したり、グッドデザイン賞のような表彰制度を創設してはどうか。</p> <p>⑦○木材関連のイベントなど消費者に発信するものは民間主体で進めてはどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模工場の誘致によるB材需要の拡大 (P25)</li> <li>県産品活用推進会議等を通じて、県産材の利用を推進 (P27)</li> <li>事例集の作成や表彰によりふくいの木の利用の情報発信を強化 (P30)</li> <li>民間と連携しイベントを開催 (P30)</li> </ul>
	②県産材の家づくりの推進		
	③公共および民間施設の木造・木質化の推進		
	④攻めの県産材の販路拡大		
	⑤新たな分野における利用拡大		
	⑥木質バイオマスの利用推進		
	⑦みんなでつかおう「ふくいの木」運動		
森に親しみ、森を守るプロジェクト	①森林の多様な活用による山村の活性化	<p>①◇キノコやタケノコ掘りなど山の副産物を活用した体験を強化してはどうか。</p> <p>②○香福茸の生産を継続するためには、しいたけ原木の確保が大事であり、容易にしいたけ原木を供給できる体制づくりが必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>トレイルと里山資源の活用体験などを組合わせた滞在型のトレイル推進や森へ誘う森林体験を県内各地に展開 (P32)</li> <li>生産拡大のための原木の確保を推進 (P33)</li> </ul>
	②地域資源である特産林産物のブランド力強化		
	③災害等から暮らしを守る森づくりの推進		
	④緑と花の県民運動を永続的に展開		
	⑤北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた観光地周辺等の花いっぱい運動の推進		